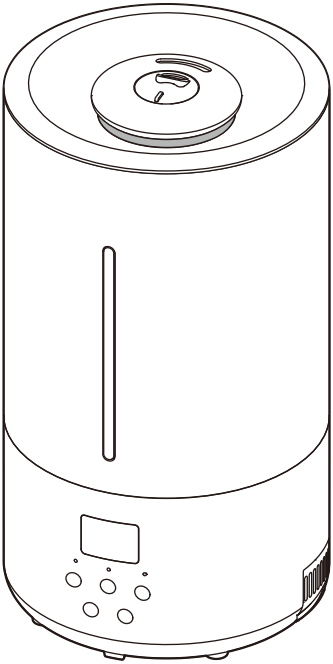
YAMAZEN

取扱説明書・保証書

●業務用として使用しないでください。
●他の用途で使用しないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

超音波式 + ヒーター ハイブリッド式加湿器 EZ-HMA550



もくじ

▌安全上の注意……1～4
▌各部の名称……5～6
▌設置について……7～8
▌使用前に知っておいていただきたいこと……8～9
▌使用前の準備……10～11
▌使いかた
●電源プラグを家庭用コンセントに差し込む……12
●運転する……12
●加湿量や湿度を設定する……13
●タイマーを設定する……14
●ヒーターを設定する……15
●ミストの方向をかえる……15
●給水ランプが点灯したときは……16
●アロマオイルを使用する……16
●使用後は……17
▌お手入れと保管……17～23
▌仕様……23
▌故障かな？と思ったら……24
▌点検のお願い……25
▌アフターサービスについて……25
▌MEMO……26
▌保証書……裏表紙

この製品は、海外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

●このたびは、弊社加湿器をお買上げいただき、誠にありがとうございました。
●使用する前に、この取扱説明書を必ずよく読み正しく安全に使用してください。
●読んだあとは、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ
YAMAZEN BOOK を
チェック!

随時情報を更新中!

安全上の注意

使用する前に「安全上の注意」をよく読み、必ず守ってください。

※ここに示した項目は、製品を安全に正しく使用するためや、使用する人や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。また危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡 または 重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠記号は、禁止「してはいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は、分解禁止）が描かれています。

❗記号は、強制「しなければいけないこと」を表示しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は、電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

※読んだあとは、使用する人がいつでも手に取れる場所に、必ず保管してください。

⚠ 警告

■ 電源コード・電源プラグについて

指示に従う

電源プラグは、根元まで確実に真っ直ぐ差し込む

●発熱・感電・火災の原因になります。

◎斜めに差し込まない。

禁止

電源コードや電源プラグが傷んでいたり、電源プラグの差し込みがゆるいときは、使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。

指示に従う

本体、電源コード、電源プラグに破損、故障、異常があったり、異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

●やけど・感電・火災の原因になります。

※故障・異常例

25ページの「点検のお願い　こんな症状はありませんか?」を参照して異常があるときは、直ちに使用を中止する。必ず電源プラグをコンセントから抜き、お買上げの販売店に点検や修理を依頼してください。

禁止

電源コードの上に、本体や物を載せたり、挟み込まない

●ショート・感電・火災の原因になります。

プラグを抜く

使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

●感電・漏電火災の原因になります。

禁止

家庭用コンセント（AC100V）以外で使用したり、コンセントや配線器具の定格を超える使いかたはしない

●家庭用コンセント（AC100V）以外で使用すると、誤作動・故障の原因になります。

●コンセントや配線器具の定格を超える使いかた（タコ足配線など）をすると、異常発熱・火災の原因になります。

指示に従う

定期的に電源プラグのホコリをふき取る

●ホコリがたまると、湿気によって絶縁不良となり、ショート・感電・火災の原因になります。

◎ホコリは、乾いたふきんでふき取る。

禁止

電源コードや電源プラグを傷付けたり、破損させたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、巻き付けたり、たばねて使用しない

●ショート・感電・火災の原因になります。

◎必ず結束バンドを外して、電源コードをのばす。

指示に従う

電源コードを引っ掛けないように注意する

●転倒や落下して、故障・けが・感電の原因になります。

⚠警告

■ 設置について

禁止

可燃性ガスや引火性の物（ガソリンやシンナーなど）がある場所に設置したり、スプレー缶（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を近くに置かない

●爆発・火災の原因になります。

指示に従う

安定した水平なテーブルや台の上に設置する

●転倒や落下して、故障・けが・感電の原因になります。

◎傾いた場所や不安定な場所（段差がある場所や毛足の長いじゅうたんの上など）に設置しない。

禁止

電気製品や精密機器（パソコンなど）の近くに設置しない

●電気製品や精密機器がミストによって湿気をおびて、ショート・感電・火災の原因になります。

◎電気製品、精密機器、電源プラグ、コンセントにミストをあてない。

水ぬれ禁止

水や蒸気がかかる場所や水にぬれた場所に設置しない

●ショート・感電・火災の原因になります。

■ 使用について

分解禁止

分解、修理、改造をしない

●けが・感電・火災の原因になります。

※修理は、お買上げの販売店に依頼してください。

禁止

電源プラグ、すき間、開口部に、金属物や異物を付着させたり、入れない

●ショート・感電・火災の原因になります。

指示に従う

水タンクの水は、毎日新しく入れ替える

●カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、健康を害する原因になります。

指示に従う

本体を持ち運ぶときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなう

●ショート・感電の原因になります。

禁止

子供や取扱いに不慣れな方だけで使用しない
乳幼児の手の届く場所で使用したり、保管しない

●けが・やけど・感電の原因になります。

指示に従う

ヒーターカバーを取り外したまま使用しない

●やけどの原因になります。

◎取り外したまま使用すると、ヒーターに触れて、やけどの原因になります。

禁止

ふたや水タンクを取り外したまま使用しない

●ミストが広がって本体や周辺に水滴が付着したり、ぬれたり、ショート・感電・火災の原因になります。

■ お手入れ・保管について

プラグを抜く

排水やお手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

●ショート・やけど・感電の原因になります。

◎電源プラグをコンセントに差し込んだまま、お手入れをしない。

◎ヒーターが十分冷めるまで、ヒーターカバーを取り外したり、お手入れをしない。

水ぬれ禁止

本体を水に入れたり、水をかけたり、丸洗いをしない

●ショート・感電・火災の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

●ショート・感電の原因になります。

指示に従う

排水するときは、ふた、水タンク、抗菌クリーンカートリッジを取り外し、排水方向に従って排水する

●排水方向を間違えると、本体内部の電気部品に水が入り、ショート・感電・火災の原因になります。

◎操作部や表示部をぬらさないように注意する。

⚠警告

■ お手入れ・保管について　つづき

禁止

お手入れに薬品、塩素系、酸性タイプの洗浄剤を使用しない

●有毒ガスが発生して、健康を害する原因になります。

指示に従う

包装用ポリ袋は、子供の手の届かない場所に保管する

●誤って顔にかぶったり、巻き付いたりして、窒息する原因になります。

禁止

各種スプレー（掃除用、整髪用、殺虫剤など）を吹き付けない

●本体内部にガスが滞留して、爆発・火災の原因になります。

●変色・破損の原因になります。

⚠注意

■ 電源コード・電源プラグについて

指示に従う

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って、真っ直ぐ抜く

●ショート・感電・火災の原因になります。

◎電源コードを引っ張って抜かない。

禁止

電源コードを持って本体を引っ張らない

●設置場所が傷付いたり、本体が転倒して、ショート・感電・火災の原因になります。

指示に従う

電源プラグを抜くときは、必ず電源を切ってからおこなう

●故障の原因になります。

■ 設置について

禁止

直射日光があたる場所、火気や熱源（コンロや暖房器具）の近く、温度が高くなる場所に設置しない

●変色・変形・水漏れ・火災の原因になります。

禁止

壁、天井、家具の近くに設置しない棚の中に設置しない

●ミストにより壁、天井、家具を傷めたり、変色・変形の原因になります。

●ショート・感電・火災の原因になります。

禁止

油、油煙、金属粉が発生する場所（厨房や工場）やホコリの多い場所に設置しない

●変形・故障・感電・火災の原因になります。

禁止

湿度の高い場所（70%以上）に設置しない

●家具や床を湿らせたり、ぬらす原因になります。

禁止

屋外に設置しない

●ショート・感電・火災の原因になります。

■ 使用について

禁止

業務用に使用しない

●無理な負担がかかり、破損・故障・火災の原因になります。

禁止

室内の加湿用途以外で使用しない

●故障・感電の原因になります。

指示に従う

動物（犬や猫など）がいる部屋で使用するときは、十分注意する

●本体や電源コードを傷め、ショート・感電・火災の原因になります。

⚠注意

■ 使用について　つづき

指示に従う

使用する環境に注意する

●下記のような環境で使用すると、本体や周辺に水滴が付着したり、ぬれることがあります。
◎室内の温度が低い状態。
◎室内の湿度が高い状態。
◎空調機器（エアコンなど）の風が本体に直接あたっている状態。
◎室内が無風状態でミストが拡散されない状態。
◎加湿量の設定を「06」で運転しているとき。
◎狭い場所や閉め切った場所。
※水滴が付着したり、周辺がぬれるときは、8ページの「使用する環境に注意」を参照して対処してください。

禁止

吹出口や吸気口をふさがない

●故障の原因になります。
●吸気口がふさがれると、湿度の感知が正常にできない原因になります。
◎必ずアロマトレイに吸気フィルターをセットしてから、本体にアロマトレイを取り付けて使用する。

禁止

アロマオイルは、アロマトレイ以外に付着させたり、入れない

●ひび割れ・破損の原因になります。
◎水タンクや霧化部にアロマオイルを入れない。

指示に従う

使用しないときや凍結のおそれがあるときは、水タンク、霧化部、水路、水槽の水を排水しておく

●カビや雑菌が繁殖して異臭がしたり、水タンクが割れて、水漏れや故障の原因になります。

禁止

水タンクに水道水以外の物を入れない

●カビや雑菌が繁殖しやすくなって健康を害したり、破損・故障の原因になります。
◎下記の物は入れない。
- ミネラルウォーター
- アルカリイオン水
- 浄水器の水
- 井戸水
- お湯（40℃以上）
- 汚れた水
- 化学薬品
- 除菌剤
- 芳香剤
- アロマオイル

禁止

水位線（MAX線）以上水を入れない

●水タンクから水があふれて霧化部に流れ込み、水位が規定以上になってミストが出なくなったり、水漏れの原因になります。

禁止

霧化部や水槽に、水差しや水道で直接水を入れない

●水位が規定以上になり、ミストが出なくなったり、水漏れの原因になります。

禁止

ミストを吸引しない

●健康を害する原因になります。
◎吸入器ではありません。

禁止

水タンクの取っ手を持って振り回さない

●取っ手が破損し、けがの原因になります。

指示に従う

持ち運ぶときは、本体をしっかり持っておこなう

●破損・故障・けがの原因になります。
◎持ち運ぶときは、水タンクを取り外してからおこなう。
◎落としたり、強い衝撃を与えない。

■ お手入れ・保管について

禁止

お手入れには、シンナー、ベンジン、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類は使用しない

●変色・傷・破損の原因になります。
◎お手入れは、17～23ページの「お手入れと保管」を参照する。
◎傷が付きやすい物やかたい物でお手入れをしない。

禁止

本体に腰かけたり、物を載せない

●破損・故障・けがの原因になります。

指示に従う

電源プラグの汚れは、乾いたやわらかいふきんでふき取る

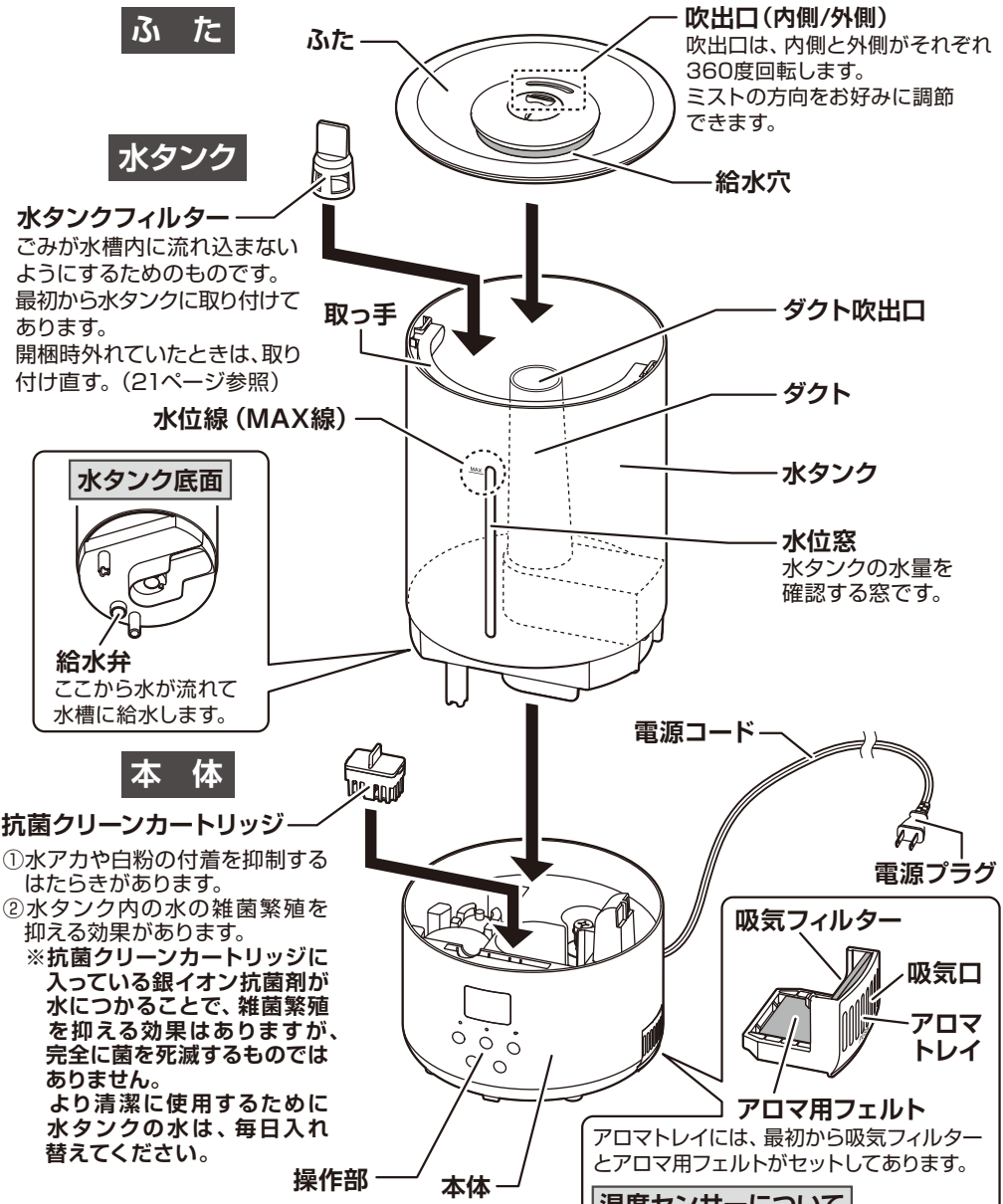
●ショート・感電の原因になります。
◎ぬれたふきんでふかない。

指示に従う

お手入れは、こまめにおこなう

●水アカ汚れやカルキ汚れが付着したまま放置すると、加湿量が低下したり、水漏れの原因になります。

各部の名称



●本書は、イラストを用いて説明しています。
実際の製品とは、多少異なることがあります。

■ お知らせ　**検査のために使用した水が製品に付着していることがありますが、品質やご使用上影響はありません。気になるときは、ゆすいだり、ふき取ってください。**

各部の名称

本体を上から見た図

背面側

水位フロート
水槽内の水位を検知します。

給水フロート
水槽内の水位が下がったときに水タンクの給水弁を開くためのものです。

排水するときは、矢印側に本体を傾ける。操作部や表示部をぬらさない。

排水方向

水槽

掃除用ブラシ収納部
ここに掃除用ブラシを収納します。

前面側
（操作部側）

霧化部（振動子）

ヒーターカバー
この下にヒーターがあります。

水路/抗菌クリーンカートリッジセット部
ここに抗菌クリーンカートリッジをセットします。

本体側面側から送風口を見た図

送風口 ※水入厳禁

送風口に絶対水を入れない。ショート・感電・火災の原因になるので注意する。

付属品

掃除用ブラシ
振動子などのお手入れに使用します。
本体に収納してあります。

交換用 アロマ用フェルト×2枚
1枚は、最初からアロマトレイにセットしてあり、交換用として2枚付属します。

操作部/表示部

表示部
センサーで感知した現在湿度、加湿量、湿度、タイマー時間の設定や状態、給水が表示されます。

60 給水 %

湿度ランプ

タイマーランプ

ヒーターランプ

タイマースイッチ

ヒータースイッチ

電源スイッチ

加湿量スイッチ

湿度設定スイッチ

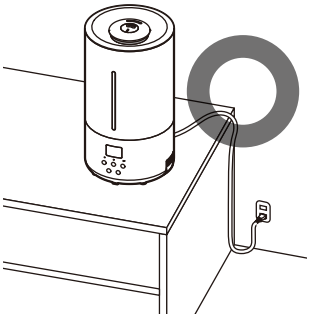
●各スイッチは、タッチスイッチになっています。
指が汚れていたり、ぬれていると反応しないことがあります。

設置について

※設置するときは、下記に注意して設置してください。

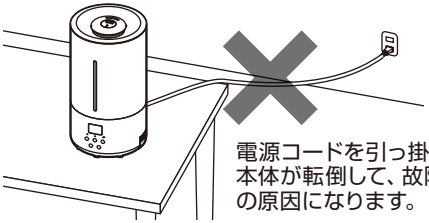
正しい設置場所

■ **吹出口から上方1m以内にミストをさえぎる物がなく、壁や家具との距離が十分に確保できる、安定した水平なテーブルや台の上に設置します。**



注 意：電源コードを引っ掛けないように注意する

●電源コードを浮かせたり、人が通る場所に這わせたりすると、電源コードを引っ掛ける原因になります。

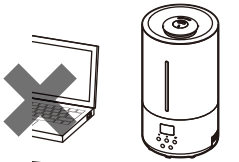


電源コードを引っ掛けると
本体が転倒して、故障・けが・感電
の原因になります。

こんな場所には設置しない

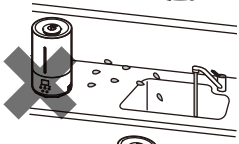
■ **電気製品や精密機器（パソコンなど）の近く**

●電気製品や精密機器がミストによって湿気をおびて、ショート・感電・火災の原因になります。



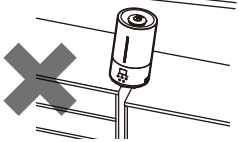
■ **水や蒸気がかかる場所や水にぬれた場所**

●ショート・感電・火災の原因になります。



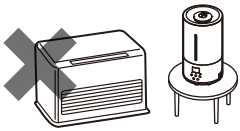
■ **傾いた場所や不安定な場所（段差がある場所や毛足の長いじゅうたんの上など）**

●転倒や落下して、故障・けが・感電の原因になります。



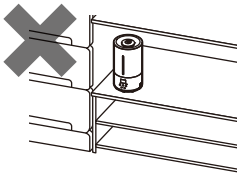
■ **直射日光があたる場所、火気や熱源（コンロや暖房器具）の近く、温度が高くなる場所**

●変色・変形・水漏れ・火災の原因になります。



■ **壁、天井、家具の近くや棚の中**

●ミストにより壁、天井、家具を傷めたり、変色・変形・ショート・感電・火災の原因になります。
※高級家具がある場所で使用するときは、とくに注意してください。



設置について

使用する環境に注意

■ **下記のような環境で使用すると、本体や周辺に水滴が付着したり、ぬれることがあります。**

◎室内の温度が低い状態。
◎室内の湿度が高い状態。
◎空調機器（エアコンなど）の風が本体に直接あたっている状態。
◎室内が無風状態でミストが拡散されない状態。
◎加湿量の設定を「06」で運転しているとき。
◎狭い場所や閉め切った場所。

※水滴が付着したり周辺がぬれるときは、下記のように対処してください。

◎加湿量の設定を「01」に設定する。
◎空調機器（エアコンなど）の風向きをかえる。
◎ミストが床や壁などに直接あたっていないか確認し、空気中でミストが気化するようにより高いテーブルや台に設置し、壁から離す。
※床に直接置いて使用すると、床がぬれることがありますので、テーブルや台の上に設置してください。
※就寝時や近くから離れるときは、とくに注意してください。

使用前に知っておいていただきたいこと

本体の周辺にできる白粉について

●ミストが蒸発したあと本体や周辺に、白い粉状の物が残ることがあります。
この白い粉状の物は、水道水に含まれているミネラル分やカルキが固形化した物で、有害な物ではありませんが本体周辺に電気製品、精密機器（パソコンなど）、家具があると電気製品や精密機器が故障したり、家具を傷める原因になることがあります。
※白粉が付着したときは、水に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、すぐにふき取ってください。

振動子周辺の付着物について

●振動子周辺に変色した付着物や、白い付着物が付くことがあります。
この付着物は、水道水に含まれているミネラル分やカルキが、水アカ汚れやカルキ汚れとなって付着した物です。
※汚れを放置すると固着して取れなくなり、加湿量が低下したり、振動子取り付け部が腐食して水漏れする原因になりますので、必ず1週間に1回以上こまめに付属の掃除用ブラシでお手入れし、水を含ませたやわらかいふきんで汚れをふき取ってください。

使用前に知っておいていただきたいこと

各ランプの減光について

●就寝時での使用も想定し約30秒間何も操作しないと、各ランプが減光する仕様です。
再度いずれかのスイッチを操作すると、もとの明るさにもどります。

メモリ機能について

メモリ機能が付いています。

●電源を切る前に運転していた加湿量 または 湿度の設定状態がメモリされます。
◎加湿量の設定「06」～「01」のいずれかがメモリされます。
◎湿度の設定「40%」、「50%」、「60%」のいずれかがメモリされます。
（加湿量 または 湿度のどちらかの設定がメモリされます）
●メモリ機能がはたらいていると次に電源を入れたとき、メモリした加湿量 または 湿度の設定で自動的に運転を開始します。
●メモリ機能は、電源が供給されなくなるとリセットされます。
（電源プラグをコンセントから抜いたり、停電など）

運転開始直後のミストの見えかたについて

●運転開始直後や下記のような環境のときは、ミストの量が安定しないためミストが見えにくかったり、少ないことがありますが、故障や異常ではありません。
しばらく運転することでミストの量が安定します。

◎運転開始直後・・・・・・・・・振動子が安定するまでに、多少時間がかかるため。

◎水温や室温が低い状態・・・水温や室温に影響され振動子が安定するまでに、長く時間がかかるため。

●使用環境（室温が高かったり、湿度が低いなど）によっても、ミストが空気中に気化しやすいため見えにくかったり、少ないことがあります。

ミストが見えにくいときの確認方法

●手を吹出口に近づけて手が湿ったり、ぬれればミストが出ています。

炎色反応について

●燃焼器具のある室内で使用すると、炎の色が赤みをおびることがあります。
これは水道水に含まれているミネラル分が反応（炎色反応）したためで、異常ではありません。

使用前の準備

必ずお守りください

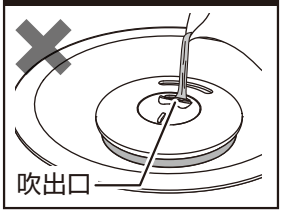
※水を入れるときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなってください。

水タンクに水を入れる

ふたの給水穴から水を入れる

●ふたの給水穴に、ゆっくりと水道水を入れます。

吹出口に水を入れない。



⚠注 意

禁止

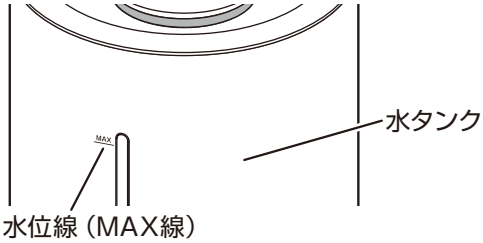
水タンクに水道水以外の物を入れない

●カビや雑菌が繁殖しやすくなって健康を害したり、破損・故障の原因になります。

◎下記の物は入れない

- ミネラルウォーター
- アルカリイオン水
- 浄水器の水
- 井戸水
- お湯（40℃以上）
- 汚れた水
- 化学薬品
- 除菌剤
- 芳香剤
- アロマオイル

MAX線以上水を入れない。
MAX線まで水を入れた状態で本体をゆらすと、水漏れの原因になるので注意する。



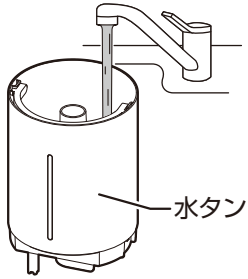
注 意

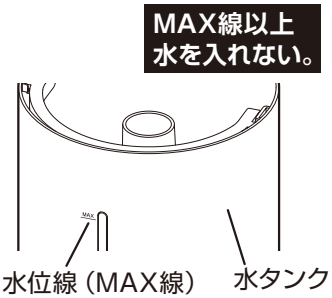
※吹出口に水を入れないように注意してください。
規定以上の水が霧化部に入り、ミストが出なくなったり、水漏れの原因になります。

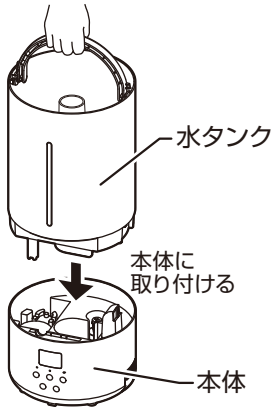
水タンクに水を入れる　つづき

水タンクを取り外して水を入れる

●水タンクを取り外して、水道から直接水を入れます。







注 意

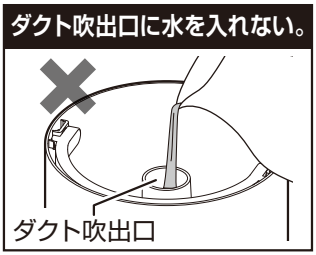
※水タンクは、確実に取り付けてください。
　浮き、傾きがあると水タンクから水が流れなくなり、給水ランプ（赤色）が点灯する原因になります。
※水タンクを取り付けたあと、水タンクを何度も持ち上げたり、水の入った水タンクを取り付けたまま本体を持ち運ばないでください。
　規定以上の水が霧化部に流れ込み、ミストが出なくなったり、水漏れの原因になります。
　本体を持ち運ぶときは、必ず水タンクを取り外してから持ち運んでください。
　水タンクを再度取り付けるときは、霧化部や水槽に残っている水を排水してください。

お知らせ

●水位線（MAX線）まで水を入れた状態で水タンクをゆらしたり持ち運ぶと、水がこぼれる原因になりますので、水位線（MAX線）よりも水を少なくすることを推奨します。

水タンクを取り付けたまま水を入れる

●ふたを取り外して、水を入れることもできます。

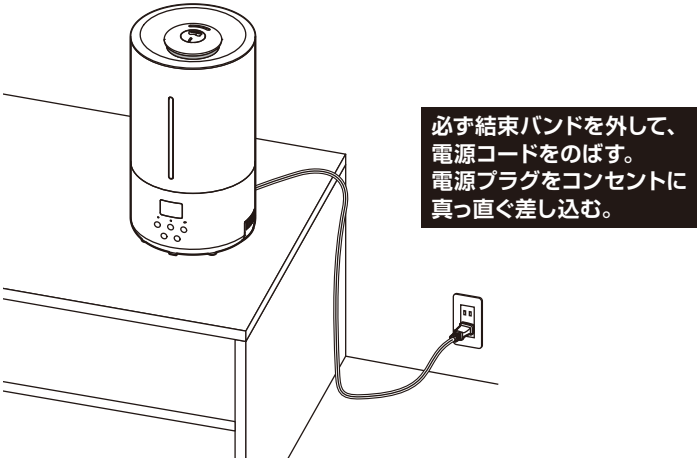


注 意

※ダクト吹出口に水を入れないように注意してください。
　規定以上の水が霧化部に入り、ミストが出なくなったり、水漏れの原因になります。

電源プラグを家庭用コンセント（AC 100V）に差し込む

●電源プラグを家庭用コンセントに、根元まで確実に差し込みます。



運転する

▌表示部にセンサーが感知した現在湿度を表示します。
（上図は感知した湿度が52%のとき）

●電源スイッチをタッチします。
●電源が入り、加湿量の設定「06」で運転を開始します。（初期運転状態）
●表示部に現在湿度を表示します。
●メモリ機能がはたらいているときは、メモリしている加湿量や湿度の設定で運転を開始します。
●運転中に電源スイッチをタッチすると、電源が切れます。

現在湿度の表示について

●現在湿度の表示は、31%～79%までは数字で表示し、30%以下のときは「Lo」、80%以上のときは「HI」と表示します。
●本体内部にあるセンサーで本体周辺の湿度を感知して表示しています。
湿度はお部屋の場所によってムラがあるため、表示部の現在湿度表示とお部屋の湿度計が異なることがあります。
●設置場所がぬれていたり、吸気口がふさがれると湿度の感知や表示が正常にできない原因になります。

加湿量や湿度を設定する

加湿量を設定すると連続運転をおこない、湿度を設定すると湿度をコントロールしながら自動運転をおこないます。

加湿量を設定する　連続運転

▌加湿量 を「03」に設定したとき

- 運転中に、加湿量スイッチをタッチします。
- 表示部に加湿量を点滅表示します。
- 加湿量スイッチをタッチするごとに、下記のように順送りでかわります。
- 表示部を見ながら設定します。

06 → 05 → 04 → 03 → 02 → 01

- お好みの加湿量を選択して5回点滅すると、加湿量が決定されて、連続運転します。
- 表示部が現在湿度表示にもどります。

連続運転について

- 湿度に関係なく、設定した加湿量で連続運転します。

湿度を設定する　自動運転

▌湿度を「60%」に設定したとき

- 運転中に、湿度設定スイッチをタッチします。
- 表示部に湿度を点滅表示して、湿度ランプが点灯します。
- 湿度設定スイッチをタッチするごとに、下記のように順送りでかわります。
- 表示部を見ながら設定します。

40% → 50% → 60%

湿度設定解除

湿度の設定を解除すると、加湿量の設定「06」で連続運転します。

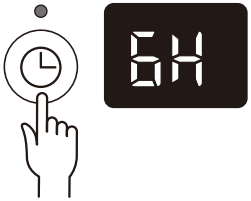
- お好みの湿度を選択して5回点滅すると、湿度が決定されて、自動運転します。
- 表示部が現在湿度表示にもどります。

自動運転について

- 設定した湿度に応じて自動的に運転したり、停止して湿度をコントロールします。
  常に設定した湿度で一定に保たれるものではなく、多少高くなることや、低くなることがあります。

タイマーを設定する

■ 設定時間が経過すると電源が切れます



▌タイマー時間を「6H」に設定したとき

- 運転中に、タイマースイッチをタッチします。
- タイマーランプが点灯して、表示部にタイマー時間を表示します。
- タイマースイッチをタッチするごとに、下記のように順送りでかわります。
- 表示部を見ながら設定します。

1H → 2H → 3H → 4H → 5H → 6H → 7H → 8H

タイマー解除（連続運転）

- 設定後、時間が経過すると
「8H」→「7H」→「6H」→「5H」→「4H」→「3H」→「2H」→「1H」
と表示がかわり、電源が切れるまでの残り時間を表示します。

お知らせ

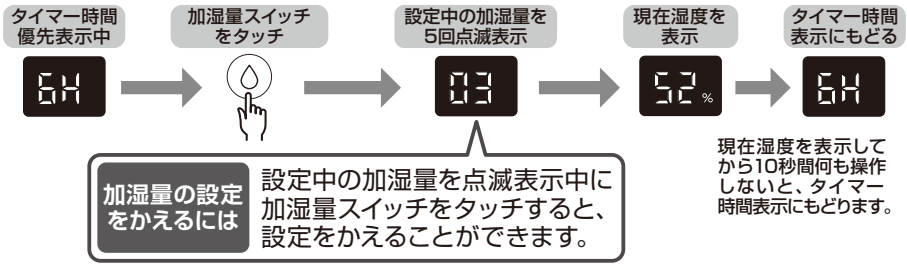
- タイマーを設定すると、表示部にタイマー時間が優先表示されます。
- タイマーが設定されているときに水槽の水位が規定以下になると、タイマーが解除されて運転が停止します。

タイマー時間優先表示中に、現在設定中の加湿量 または 湿度を確認する

- タイマー時間優先表示中に、現在設定中の加湿量 または 湿度を確認するときは加湿量スイッチ または 湿度設定スイッチをタッチします。

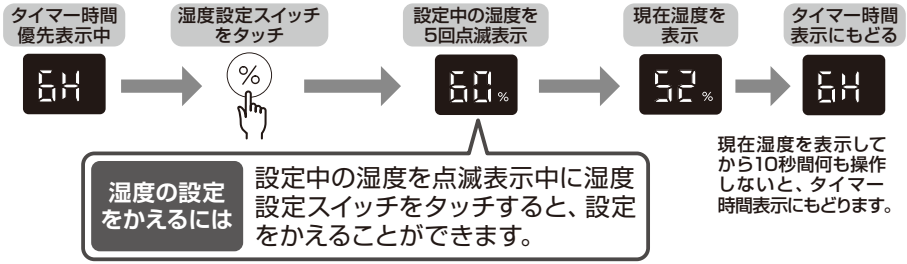
加湿量を確認するには

例：タイマーを「6H」、加湿量を「03」に設定しているとき



湿度を確認するには

例：タイマーを「6H」、湿度を「60%」に設定しているとき



ヒーターを設定する

ヒーターで水槽の水をあたためながら加湿することができます。

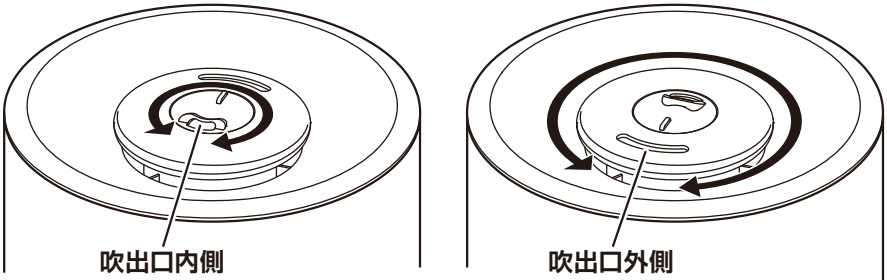
- 運転中に、ヒータースイッチをタッチします。
- ヒーターがONになり、ヒーターランプが点灯します。
- もう一度ヒータースイッチをタッチすると、ヒーターがOFFになります。

お知らせ

- ヒーターによってあたためられた水で加湿しますが、水を沸騰させたスチームのような熱いミストが出たり、ミストによってお部屋をあたためるものではありません。
- 使用環境（室温や水温）によって、水があたたまるまでに時間がかかることがあります。

ミストの方向をかえる

- 吹出口を回転させて、ミストの方向をかえます。
- 吹出口内側と外側は、それぞれ別々の方向にかえることができます。



吹出口は、内側と外側それぞれ別々に360度回転させることができます。

注 意

※ミストの方向をかえるときは、電気製品、精密機器（パソコンなど）、家具にミストがあたらないように注意してください。
電気製品や精密機器が故障したり、家具を傷める原因になります。

給水ランプが点灯したときは

▌水槽の水位が規定以下になったとき給水表示以外の表示とランプがすべて消灯します。

- 運転中に水槽の水位が規定以下になると、「ピッ、ピッ、ピッ」と音が鳴り、給水表示（赤色）が点灯して運転が停止します。
- 給水表示が点灯したときは、電源スイッチをタッチして電源を切る以外の操作を受けつけません。

運転を再開するとき

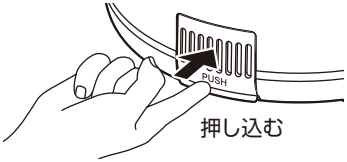
- 水タンクに水を入れます。
- 水槽に水がたまると、現在設定中（加湿量 または 湿度の設定、ヒーターの設定）の状態で自動的に運転が再開します。

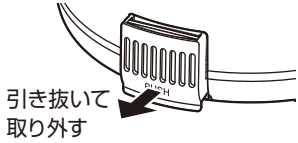
運転をやめるとき

- 電源スイッチをタッチします。
- 給水表示（赤色）が消灯して、電源が切れます。

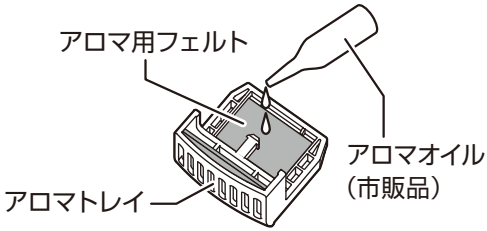
アロマオイルを使用する

- アロマトレイを押し込むと、軽く手前に飛び出します。
- アロマトレイの両端をつまんで引き抜きます。





- アロマオイルをアロマ用フェルトに1～2滴染み込ませます。
  ※アロマオイルは、市販品をお買い求めください。
- アロマトレイを本体に押し込んで取り付けます。



注 意

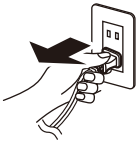
※アロマオイルの中には、通経作用のある物がありますので、妊娠中の方が使用するときは、とくに注意してください。
※アロマオイルを使用するときは、必ず使用するアロマオイルの取扱説明書や注意書きをよく読んでから使用してください。
※アロマトレイは、吸気口も兼ねています。
アロマオイルの使用有無にかかわらず、必ずアロマトレイに吸気フィルターをセットしてから、本体にアロマトレイを取り付けて使用してください。
故障の原因になります。

使いかた

使用後は

●電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜きます。
※電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
●水アカ汚れやカルキ汚れ固着防止のため、水タンク、霧化部、水路、水槽に残っている水を排水して、17～23ページの「お手入れと保管」に従ってお手入れをします。
※振動子周辺が熱を持つことがありますので、使用後少し時間が経過してからお手入れをしてください。

電源プラグをコンセントから真っ直ぐ抜く。



水が凍結するおそれがあるときは

●水が凍結するおそれがあるときは、水タンク、霧化部、水路、水槽の水を排水しておきます。
※万一凍結したときは、暖房器具や熱湯で溶かしたりしないで、常温で自然に溶かしてください。

お手入れと保管

水アカ汚れやカルキ汚れを放置すると固着して取れなくなったり、水漏れ、カビ、雑菌の繁殖、異臭の原因になります。
※各部品を取り外して、必ずこまめにお手入れをしてください。
※お手入れをするときは、けがを防止するためゴム手袋を着用してください。

⚠警告

プラグを抜く

排水やお手入れのときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
●ショート・やけど・感電の原因になります。
◎電源プラグをコンセントに差し込んだまま、お手入れをしない。
◎ヒーターが十分冷めるまで、ヒーターカバーを取り外したり、お手入れをしない。

禁止

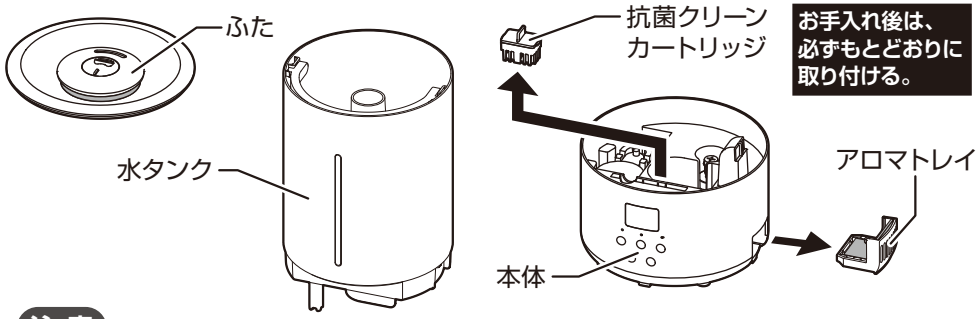
お手入れに薬品、塩素系、酸性タイプの洗浄剤を使用しない
●有毒ガスが発生して、健康を害する原因になります。

必ずお守りください

※各部品を取り外したり、お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてからおこなってください。

お手入れと保管

■ お手入れをするときは、各部品を取り外します。

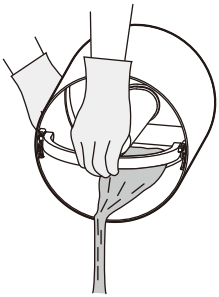


注 意

※水タンクを取り外すときや持ち運ぶときは、水タンク底面に付着した水滴が滴下して、衣服や床をぬらすおそれがありますので、注意してください。
※お手入れ後は、必ず各部品をもとどおりに取り付けてください。

水タンク（毎回）　丸洗いできます

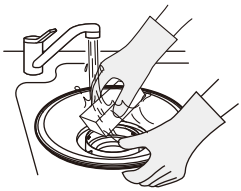
- 水タンクに残っている水を排水します。
- 食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



ふた、吹出口（1週間に1回以上）　丸洗いできます

- 食器用中性洗剤をやわらかいスポンジに含ませて、水洗いします。
- 洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。

**必ずこまめに
お手入れする。**

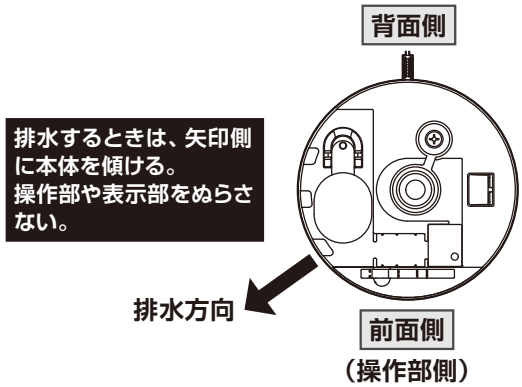


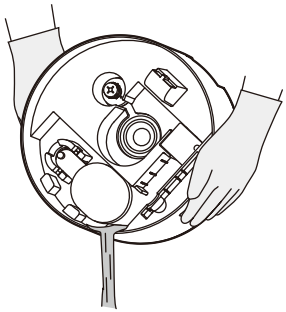
霧化部、水路、ヒーター、水槽（1週間に1回以上）

（蛇口から直接水を流し入れながらお手入れをしない）　**丸洗いできません**

※霧化部、水路、ヒーター、水槽に水アカ汚れやカルキ汚れが固着する前に、必ずこまめにお手入れをしてください。

●霧化部、水路、水槽に残っている水を、排水方向に傾けて排水します。

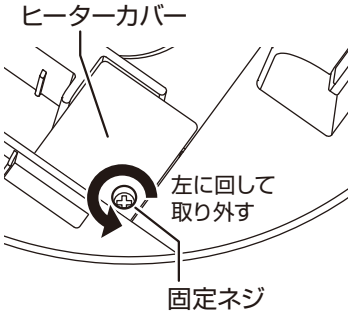




ヒーターカバーの取り外しかた

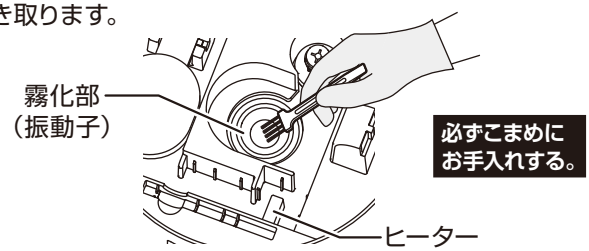
●プラスドライバーを使用して、ヒーターカバーの固定ネジを回して取り外します。
●ヒーターカバーを持ち上げて取り外します。
※お手入れをしたあとは、ヒーターカバーを必ずもとどおりに取り付けてください。

ヒーターが十分冷めるまで、ヒーターカバーを取り外したり、お手入れをしない。

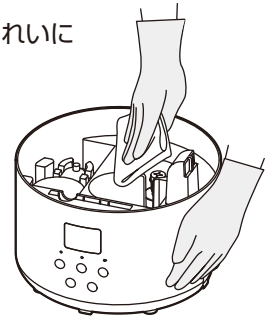


霧化部、水路、ヒーター、水槽のお手入れ

●霧化部、水路、ヒーター、水槽の汚れを付属の掃除用ブラシでお手入れし、水を含ませたやわらかいふきんで汚れをふき取ります。
●落ちにくい汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。
さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。



必ずこまめにお手入れする。



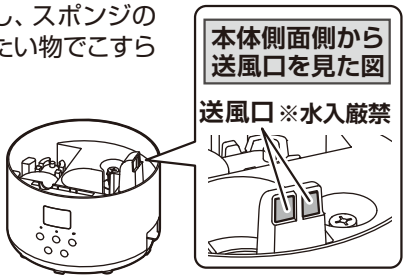
お手入れと保管

霧化部、水路、ヒーター、水槽（1週間に1回以上）　つづき
（蛇口から直接水を流し入れながらお手入れをしない）　**丸洗いできません**

注 意

※霧化部やヒーターは、漂白剤、みがき粉、たわし、スポンジの研磨面、金属ブラシ類の傷が付きやすい物やかたい物でこすらないでください。
霧化部やヒーターの表面に傷が付き、故障・腐食の原因になります。

※送風口に絶対水を入れないように注意してください。
本体内部に水が入り、ショート・感電・火災の原因になります。



ワンポイントアドバイス

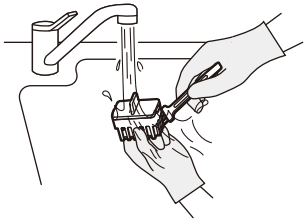
■ 霧化部の汚れがお手入れしてもきれいにならないときは

- 抗菌クリーンカートリッジを取り外します。
- 酢かレモン果汁 25mL または クエン酸 6g を混ぜた水 1L を水タンクに入れます。
- 加湿量の設定を「06」で約15分運転してからお手入れをします。
  ※下記に十分注意してください。（霧化部の表面が傷む原因になります）
  - 酢、レモン果汁、クエン酸の濃度を濃くしない。
  - 15分以上運転しない。
  - 酢、レモン果汁、クエン酸でのお手入れを頻繁にしない。

抗菌クリーンカートリッジ（1週間に1回以上）　丸洗いできます

- 抗菌クリーンカートリッジを水洗いしながら、数回軽く振って内部の汚れを落とし、表面の汚れをやわらかいふきんでふき取ります。
- 汚れで目詰まりしているときは、付属の掃除用ブラシで取り除きます。

必ずこまめにお手入れする。



お知らせ

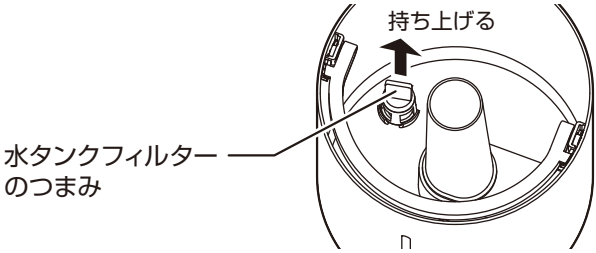
- 抗菌クリーンカートリッジは使用にともない効果が低下しますので、1シーズンごとの交換をおすすめします。
  ※抗菌クリーンカートリッジの購入については、25ページの「アフターサービスについて」を参照してください。

お手入れと保管

水タンクフィルター（1週間に1回以上）　丸洗いできます

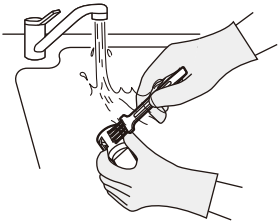
水タンクフィルターの取り外しかた

●水タンクフィルターのつまみを持って、持ち上げて取り外します。



水タンクフィルターのお手入れ

●食器用中性洗剤を付属の掃除用ブラシに数滴付けて、水洗いします。
●洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。

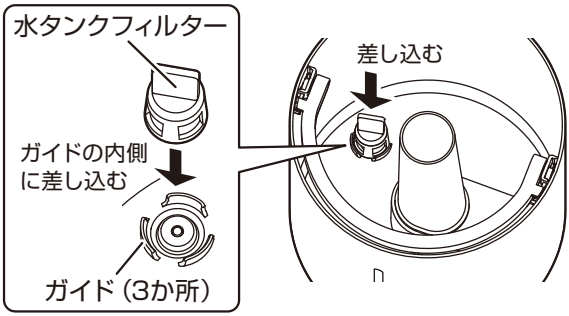


注 意

※水タンクフィルターは、付属の掃除用ブラシでやさしくお手入れしてください。
　かたいブラシでお手入れしたり、乱暴に扱うとフィルターが破れる原因になります。

水タンクフィルターの取り付けかた

●水タンクフィルターをガイドの内側に差し込みます。



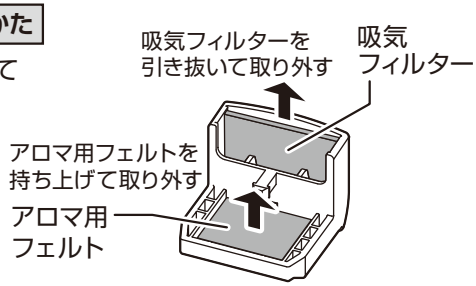
お手入れと保管

アロマトレイ（1週間に1回以上）　丸洗いできます

※アロマトレイは、吸気口も兼ねています。
必ず吸気フィルターを取り外してお手入れをしてください。
吸気口がホコリで目詰まりすると、湿度の感知や表示が正常にできない原因になります。
お手入れ後は、必ずアロマトレイに吸気フィルターをセットしてから、本体にアロマトレイを取り付けてください。
故障の原因になります。

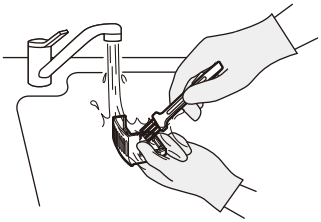
吸気フィルターとアロマ用フェルトの取り外しかた

●アロマトレイから、吸気フィルターを引き抜いて取り外します。
●アロマ用フェルトを持ち上げて取り外します。
※お手入れをしたあとは、吸気フィルターとアロマ用フェルトをもとどおりにセットしてください。



アロマトレイのお手入れ

●食器用中性洗剤を付属の掃除用ブラシに数滴付けて、水洗いします。
●洗剤が残らないように水で洗い流して、乾いたやわらかいふきんで水分が残らないようにふき取り、よく乾燥させます。



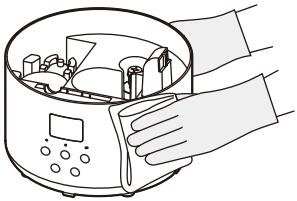
吸気フィルター、アロマ用フェルトのお手入れ

●薄めた食器用中性洗剤に吸気フィルター、アロマ用フェルトを浸して、軽くもみ洗いします。
●洗剤が残らないように水で洗い流して、よく乾燥させます。

アロマトレイや吸気フィルターは必ずこまめにお手入れする。

本　体（適 時）　丸洗いできません

●乾いたやわらかいふきんで、ホコリや汚れをふき取ります。
●落ちにくいホコリや汚れは、薄めた食器用中性洗剤に浸したやわらかいふきんをよくしぼって、ふき取ります。さらに乾いたやわらかいふきんで、洗剤が残らないようにきれいにふき取ります。
※操作部や表示部は、ぬれたふきんでふかないでください。



お手入れと保管

保　管

●保管の前は、必ずお手入れをします。
●お手入れ後は、よく乾燥させてからポリ袋をかぶせ、直射日光や湿気を避けて保管します。
（湿ったまま保管すると、カビの発生、異臭、故障の原因になります）

注 意

※電源コードの根元を曲げたり、電源コードを本体に巻き付けたり、電源コードや電源プラグに力が加わるような状態で、保管しないでください。
異常発熱・ショート・火災の原因になります。

仕　　様

電　　源	AC 100V （50-60Hz共用）
消 費 電 力	95W（ヒーターON時）
製 品 寸 法（約）	幅：200mm×奥行：200mm×高さ：360mm
製 品 質 量（約）	1.7kg
コ ー ド 長（約）	1.5m
水タンク容量	5L
※加　湿　量（約）	加湿量設定「01」：100mL/h　加湿量設定「06」：500mL/h
※連続使用時間（約）	加湿量設定「01」：50時間　　加湿量設定「06」：10時間
※適 用 床 面 積（約）	加湿量設定「06」：木造和室　8.5畳　プレハブ洋室　14畳
安 全 装 置	給水ランプ（赤色）点灯時、運転停止
	電流ヒューズ、温度ヒューズ

●製品の仕様や外観は、改善のため予告なく変更することがあります。
●製品寸法の奥行については、コードブッシュ（製品本体側の電源コード根元部）は含んでいません。

■ 加湿能力について（仕様欄の※印）

●加湿量、連続使用時間、適用床面積につきましては、室温20℃・湿度40～60%の条件のもとで測定した値を表示しています。
製品の加湿能力は、部屋の温度・湿度、部屋の構造・材質、使用されている暖房機器などの影響で変化します。
使用される条件によっては、表示値に対して差異が生じることがあります。
●加湿量、連続使用時間、適用床面積につきましては、ヒーターONで測定した値を表示しています。

■ 電気代について

●ヒーターON、最大加湿量「06」で運転時：95W　1時間あたり 約3円
（電気代は、電気料金目安単価 31円/kWhをもとに算出しています）

故障かな？と思ったら

※お問い合わせや修理を依頼される前に、下記を確認してください。

症　状	原　因	処置 または お知らせ
運転が途中で停止する	●給水表示（赤色）が点灯していませんか？	●水槽の水位が規定以下になると、給水表示（赤色）が点灯して給水をお知らせし、運転が停止します。 水タンクに水を入れて、運転を再開してください。
ミストの出が悪いミストが見えない	●運転開始直後ではありませんか？	●運転開始直後は、ミストの量が安定しないためミストが見えにくかったり、少ないことがありますが、故障や異常ではありません。 しばらく運転することでミストの量が安定します。
	●室温が高かったり、湿度が低い環境ではありませんか？	●使用環境（室温が高かったり、湿度が低いなど）によっては、ミストが空気中に気化しやすくなるため、見えにくかったり、少ないことがあります。
	●振動子が汚れていませんか？	●振動子のお手入れをしてください。
	●吸気口、吸気フィルターがホコリで目詰まりしていませんか？	●吸気口、吸気フィルターのお手入れをしてください。
運転中に音がする	●振動子によって水がはねる音ではありませんか？	●運転中は振動子によって水を振動させているため水がはねる音がしますが、故障や異常ではありません。
ミストが臭う	●霧化部、水路、水槽が汚れていたり、水タンクの水を毎日入れ替えずに運転していませんか？	●カビや雑菌が繁殖して異臭がすることがありますので、霧化部、水路、水槽はこまめにお手入れをしてください。 水タンクの水は、毎日新しく入れ替えてください。
	●振動子が汚れていませんか？	●振動子のお手入れをしてください。
	●抗菌クリーンカートリッジの交換時期が過ぎていませんか？	●抗菌クリーンカートリッジは、使用にともない効果が低下します。 1シーズンごとの交換をおすすめします。
表示部に「E1」、「E2」のいずれかが表示される	●センサーが故障しています。	●「E1」、「E2」のいずれかが表示されると、電源スイッチ以外操作を受けつけません。 使用を中止してお買上げの販売店に修理を依頼してください。
現在湿度表示が「Lo」または「HI」を表示したままいつまでたってもかわらない	●センサーの故障が考えられます。	●現在湿度表示は、運転にともなって高くなったり低くなったりしますが、「Lo」または「HI」を表示したままいつまでたってもかわらないときは故障が考えられます。 山善 家電お客様サービス係へご相談ください。
表示部の湿度表示とお部屋の湿度計の湿度が違う	●湿度表示は、本体内部にあるセンサーで本体周辺の湿度を感知して表示しています。湿度はお部屋の場所によってムラがあるため、表示部の湿度表示とお部屋の湿度計が異なることがあります。	

点検のお願い

安全に長く愛用していただくために
日頃から点検をおこなってください。

★こんな症状はありませんか？

- ●電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ●電源コードや電源プラグに深い傷や被覆破れがある。
- ●電源プラグが変形している。
- ●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- ●水漏れする。
- ●変形や破損している。
- ●異常な音がする。
- ●製品に触れるとピリピリと電気を感じる。
- ●製品が異常に熱かったり、こげ臭いなどの異臭がする。
- ●その他の故障・異常・破損がある。

★異常があれば

使用中止 !!

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検や修理を依頼してください。

- ●電源プラグやコンセントにホコリやごみが付着している。

ホコリやごみを取り除いてください。

アフターサービスについて

- **●本製品は、保証書が付いています。**
  お買上げの際に、販売店より必ず保証欄の「お買上げ年月日」と「販売店印」の記入を受けてください。
- **●保証期間は、お買上げ日より1年です。**
  保証期間中の修理は、お買上げの販売店に依頼してください。
  保証書の記載内容により、修理いたします。
  その他詳細は、保証書を参照してください。

※ただし抗菌クリーンカートリッジは、消耗品ですので抗菌クリーンカートリッジの注文は、保証期間内でも有料とさせていただきます。

- **●保証期間経過後の修理（有料）については、お買上げの販売店に、依頼してください。**
- **●本製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。**
  補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために、必要な部品です。
- **●消耗品（抗菌クリーンカートリッジ）の購入については、お買上げの販売店か下記に記載の連絡先までお問い合わせください。**
  吸気フィルターなどのサービスパーツについては、お買上げの販売店に、お問い合わせください。

■消耗品

品名：山善 超音波式加湿器用
　　交換用 抗菌クリーンカートリッジ
品番：KCC-01

※販売店で購入するときは、上記内容をお伝えいただきますようお願いいたします。

■ 使いかたやお手入れなどのお問い合わせは下記へ

本製品についての取扱いや、お手入れ方法のお問い合わせ、転居されたり贈答品などで、販売店に修理の依頼ができない場合は、右記へお問い合わせください。

「山善　家電お客様サービス係」
ナビダイヤル 0570-077-078
※PHS、IP電話など一部の電話からは、利用できません。
受付時間：10：00～17：00（土、日、祝日を除く）

FAXまたはEメールでのお問い合わせも受け付けています。
その際は、製品名、品番、お問い合わせ内容、お名前、電話番号を記入のうえ、お問い合わせください。

●FAXでのお問い合わせは フリーダイヤル 0120-680-287

●Eメールでのお問い合わせは info_m@yamazen.co.jp

個人情報の取扱いについて
株式会社 山善およびその関係会社は、お客様の個人情報やお問い合わせ内容を、お問い合わせへの対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせのときは、保証書に記載の製品名、品番をお知らせください。

MEMO